



## 2020年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月11日

上場会社名 M - シルバーエッグ

上場取引所 東

コード番号 3961 URL <http://www.silveregg.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) トーマス・アクイナス・フォーリー

問合せ先責任者 (役職名) 管理副部長

(氏名) 樋之内 幸正

TEL 06-6386-1931

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	616	30.5	141	413.3	140	409.1	58	300.2
2019年12月期第2四半期	472		27		27		14	

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 58百万円 (822.9%) 2019年12月期第2四半期 6百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	19.87	19.82
2019年12月期第2四半期	5.01	4.99

(注) 当社は、2019年12月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	1,141	963	84.5
2019年12月期	1,021	885	86.7

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 963百万円 2019年12月期 885百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		0.00	0.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,100	10.1	141	27.8	141	27.8	72	16.0	24.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) - 、 除外 社 (社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	2,966,942 株	2019年12月期	2,938,400 株
期末自己株式数	2020年12月期2Q	42 株	2019年12月期	42 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	2,948,747 株	2019年12月期2Q	2,920,098 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たったの注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明及び決算説明会の内容の入手方法について)

当社は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、従来のアナリスト向けの説明会開催に替えて、2020年8月下旬にアナリスト向けに当該説明用の音声データを配信する予定です。決算補足説明資料はTDnetで開示予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(追加情報)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(株主資本等関係)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、これまでの企業収益や雇用環境の改善を背景にした緩やかな回復基調から一転し、新型コロナウイルス感染症の世界的拡散による世界経済の先行き懸念がこれまでになく厳しい環境に転じたことを受け、より一層、不透明な状況となっております。

一方で、当社の事業が関連するBtoC-EC（消費者向け電子商取引）市場規模は、2018年に18.0兆円（前年比8.9%増）から、2019年は19.4兆円（前年比7.7%増）に成長しており、同時にEC化率も6.8%（前年比0.54ポイント増）と増加傾向にあります。そのうち、物販は10兆515億円（前年比8.1%増）と51.9%を占めております。また、2019年のネットショッピングを利用した世帯（2人以上の世帯）の割合も42.8%（前年比3.6ポイント増）と増加しており、スマートフォンの利用範囲の広がり等により、商取引の電子化が引き続き進展し、さらなる拡大が見込まれております（経済産業省・総務省調べ）。

このような状況の中、当社は「AI（人工知能）クラウド型サービスで、あらゆるタッチポイントにおけるリアルタイム・パーソナライゼーションの実現」をミッションに掲げ、ECサイト運営企業、ウェブサービス企業向けに、AIを用いたマーケティング支援ツールである「リアルタイム・レコメンド・サービス」を提供してまいりました。

営業活動につきましては、「Go Deep」戦略により引き続き既存業界であるアパレル業界や人材業界、並びにメディア業界（電子書籍）を中心に、既存顧客の売上が堅調に推移いたしました。またレコガゾウの売上も底堅く推移し、当第2四半期末時点での既存顧客の売上は想定を上回るペースで増加いたしました。新規顧客獲得の施策としましては、ECパッケージの提供企業や、データフィード管理ツールを提供するマーケティング支援企業など、各ジャンルにおいて強みを持つ優秀なパートナー企業との連携強化を進めてまいりました。

一方で、新規顧客獲得の施策として例年実施しております各種展示会出展、セミナー開催に関しましては、全国的な新型コロナウイルス感染症の影響により開催延期等の措置が講じられていることを受け、これらに代わる新たな施策の検討を進めてまいりました。

研究開発につきましては、新サービスとして見た目が似ている商品を高精度でレコメンド表示する画像認識レコメンドの対応アイテム点数拡張と精度向上を図る一方で、同サービスの受注を開始し、アパレル企業において初リリースを行いました。

一方、子会社であるSilver Egg Technology Asia Limitedを含めた当社グループは、前期末から引き続いて新たなAIマーケティング・プラットフォームの次世代バージョンリリースに向けての研究開発強化にも取り組んでまいりました。

今後もAI技術をベースにしたデジタルマーケティングサービスの提供を通じて、多様なマーケティング施策の効果向上を支援するとともに、あらゆるチャネルとデバイス上での、パーソナライゼーションによる付加価値向上を実現してまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益につきましては、上述の「Go Deep」戦略の推進に加え、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛要請に伴う、いわゆる巣ごもり消費に起因するインターネット通販需要増加時期の影響もあり、特に既存顧客向けの取り込みにより大幅に伸長し616,578千円（前年同期比30.5%増）となりました。

利益につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響による展示会出展やセミナー延期等に係る代替対策、従業員の在宅勤務対策など事業維持対策に伴う費用抑制効果等で営業費用が微増に留まったこと等により、営業利益は141,610千円（同413.3%増）、経常利益は140,576千円（同409.1%増）と大幅な増加となりました。また、投資有価証券評価損を計上いたしましたが、上記により親会社株主に帰属する四半期純利益は58,590千円（同300.2%増）となりました。

なお、当社グループは、レコメンドサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①財政状態

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計期間末に比べ119,239千円増加し、1,141,184千円となりました。主な内訳は、現金及び預金の増加75,571千円、売掛金の増加23,546千円であります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計期間末に比べ41,102千円増加し、177,316千円となりました。主な内訳は、未払法人税等の増加37,384千円であります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計期間末に比べ78,136千円増加し、963,868千円となりました。主な内訳は、資本金の増加10,031千円、資本剰余金の増加10,031千円、親会社株主に帰属する四半期純利益58,590千円によるものであり、自己資本比率は84.46%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ75,571千円増加し、801,980千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、得られた資金は、92,726千円（前年同期に得られた資金は8,160千円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上額117,662千円、投資有価証券評価損22,913千円、未払消費税等の増加額9,832千円があった一方で、売上債権の増加額23,546千円、法人税等の支払額29,432千円があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、支出した資金は、18,065千円（前年同期に支出した資金は110,994千円）となりました。これは、無形固定資産の取得による支出18,065千円があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、得られた資金は、1,312千円（前年同期に得られた資金は6,250千円）となりました。これは、新株予約権の行使に伴う株式の発行による収入1,312千円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年2月14日に公表いたしました業績予想に変更はありませんが、詳細につきましては2020年8月7日に公表しております「2020年12月期第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	726,408	801,980
売掛金	188,131	211,677
その他	11,996	41,149
貸倒引当金	△65	△74
流動資産合計	926,471	1,054,732
固定資産		
有形固定資産	33,195	30,301
無形固定資産	12,173	30,374
投資その他の資産		
投資有価証券	27,402	—
その他	22,703	26,635
貸倒引当金	—	△860
投資その他の資産合計	50,105	25,775
固定資産合計	95,474	86,452
資産合計	1,021,945	1,141,184
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	58,406	62,262
未払法人税等	30,525	67,909
その他	47,282	47,144
流動負債合計	136,213	177,316
負債合計	136,213	177,316
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	275,240	285,272
資本剰余金	260,004	270,035
利益剰余金	357,070	415,660
自己株式	△134	△134
株主資本合計	892,181	970,834
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△6,449	△6,965
その他の包括利益累計額合計	△6,449	△6,965
純資産合計	885,732	963,868
負債純資産合計	1,021,945	1,141,184

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業収益	472,650	616,578
営業費用	445,060	474,968
営業利益	27,589	141,610
営業外収益		
受取利息	52	3
受取手数料	20	—
営業外収益合計	72	3
営業外費用		
為替差損	51	176
貸倒引当金繰入額	—	860
営業外費用合計	51	1,037
経常利益	27,611	140,576
特別損失		
固定資産除却損	0	—
関係会社整理損	1,686	—
投資有価証券評価損	—	22,913
特別損失合計	1,686	22,913
税金等調整前四半期純利益	25,924	117,662
法人税、住民税及び事業税	13,273	62,332
法人税等調整額	△1,988	△3,259
法人税等合計	11,284	59,072
四半期純利益	14,639	58,590
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,639	58,590

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	14,639	58,590
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△8,347	△516
その他の包括利益合計	△8,347	△516
四半期包括利益	6,292	58,073
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,292	58,073
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	25,924	117,662
減価償却費	2,070	2,946
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	868
受取利息	△72	△3
固定資産除却損	0	-
関係会社整理損	1,686	-
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	22,913
株式報酬費用	-	4,687
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,318	△23,546
前払費用の増減額 (△は増加)	△6,826	△14,389
未払金の増減額 (△は減少)	12,242	3,874
未払費用の増減額 (△は減少)	287	△12,377
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△5,502	9,832
その他	1,947	5,222
小計	27,439	117,691
利息の受取額	72	4,467
法人税等の支払額	△19,351	△29,432
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,160	92,726
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△695	-
無形固定資産の取得による支出	-	△18,065
投資有価証券の取得による支出	△110,299	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110,994	△18,065
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	6,250	1,312
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,250	1,312
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,472	△401
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△103,056	75,571
現金及び現金同等物の期首残高	788,594	726,408
現金及び現金同等物の四半期末残高	685,537	801,980

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

新型コロナウイルス感染症については収束時期を正確に見通すことは現時点において困難ではありますが、当第2四半期連結会計期間末において重要な影響は生じておりません。

(四半期連結損益計算書関係)

(投資有価証券評価損)

当社の連結子会社Silver Egg Technology Asia Limited (以下、連結子会社) が所有しておりました投資有価証券のZeroth SPC社 (以下、Zeroth社) が運営するAI 特化スタートアップアクセラレーターファンドへの運用開始分について、当社(親会社)へ2020年4月に移管を行い、ファンドの運営管理ならびに監視体制の強化を図ってまいりましたが、当第2四半期連結会計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)において、新型コロナウイルスの更なる感染拡大の影響に加え、Zeroth社の運営責任者ならびにファンドマネージャーが不在となる等の運営環境及び管理体制が急変いたしました。これにより、当社として投資の価値を適切に把握することが、困難な状況に至りましたため、保守的な観点から減損損失処理を行うことが妥当と判断し、特別損失に22,913千円の投資有価証券評価損を計上しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本等関係)

(株主資本の著しい変動)

当社は、2020年3月2日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬制度の導入を決議し、2020年3月27日開催の第22期定時株主総会において承認可決されました。2020年4月24日付で譲渡制限付株式報酬として新株の発行26,042株を行っております。この結果、資本金及び資本準備金がそれぞれ9,375千円増加しております。

(セグメント情報)

当社は、レコメンデーションサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。